

風立ちぬ

卒業おめでとう～羽ばたけ立中学生～



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを忘れずに、新しいステージで輝いてください。これからは、「感謝の恩返し」を意識し行動できる年齢になります。

「感謝」の恩返しとは何か。それは「立派な大人」になることです。

立派というのは偉くなることではありません。人が進むべき正しい道をしっかり歩いていく生き方をすることです。その道は長い道であり、決してまっすぐではありません。それでも「利他の心」を懐に備え、一步一步しっかり進んでいってください。



進級おめでとう～次年度に向けて～

「私」と「あなた」と「みんな」



「私」という存在

まず、自分を大切にしてほしいということです。自分を大切にすることとは、今の自分、明日の自分、そして、進路も含めた将来の自分の姿を見つめ、夢や目標の実現に向けて努力すること、さらに、ものの見方や考え方、心の持ちようを学ぶことを大切にしていくということです。みなさんには、まだ、自分自身も気がついていない無限の可能性があり、自分の力を信じ、自らを磨き輝かせる道を進んでください。私達もみなさんと一緒に歩みます。

「あなた」という存在

自分のそばにいる人を大切にしてほしいということです。

これまで、どんな時にもみなさんを見守り、育て、そばにいてくださったご家族の思いを今以上に深く感じ受け止めることができる人になってほしいと思います。また、みなさんは、教室で苦楽を共にする友達、部活動の仲間など、多くの人と接して生活しています。楽しい時には、大きな口を開けて笑い、語り合える、そして、苦しいことに出会った時に手を差し伸べ合える、真の友達関係を築いていくことを大切にしてほしい。そばにいる人を大切にすることは、自分を大切にすることに結びついていきます。私達も、みなさんといっしょに感動の涙を流し、悩みを共有しながら歩みたいと思います。



「みんな」という存在

私達は仲間と生活をいっしょにするとともに、地域の多くの方々にお世話になりながら学び続けていくこととなります。学校は、小さな社会です。これからの時代・社会を力強く生き抜いていくために必要な、自ら学ぼうとする力、課題を発見し仲間と共に解決していく力、集団生活の中で培われる社会性、他者を思いやり尊重する心、そして、自分の育った地域・郷土を愛し貢献しようとする心を、多くの仲間と共に、切磋琢磨しながら自分の心と体の中に育ててほしいと思います。私達も、みなさんが義務教育の課程を終える時に、どんな時代・社会が到来しているのかをしっかりと見据え、学びを支えていきたいと思っています。

この世に唯一の存在である「私」、晴れた日も、雨の日も支え合う「あなた」、自分の可能性を引き出し、成長させてくれる「みんな」の存在を大切に、共に歩いていきましょう。



= 「夢は生活に活力を与えてくれるもの 自分の手を使って確かめてこそ 本当のことがわかるのです」 =

小学校時代に担任していただいた、五十嵐順子先生から卒業アルバムに頂いたメッセージです。

五十嵐先生の社会科の授業は、生徒に課題を設けさせ、仮説を立て、調べ、まとめ、発表させる授業が多くありました。みんな競い合って新聞を作成したり、ノートにレポートを作成し、仲間に学んだ事を伝えました。現在行われている探究型学習の始めのような授業です。ですから、卒業に向けこれからの人生で大事なことは、「自分の手を使って確かめることである」というメッセージを理解することができました。

中学入学後は、色々挑戦しました。挑戦しては失敗の繰り返しで心も折れそうになるのですが、自分が取り組んだ結果が答えなのだ自分を納得させました。一つひとつ、自分の疑問を、仲間や先輩、先生、両親、時には地域の方の力を借りて解決してきました。周りに話を聞いてくれる仲間や大人がいたので、「盗んだバイクで走り出す」ことも「夜の校舎、窓ガラス壊してまわる」こともありませんでした。人生の中で、どんな人に出会えるか、はとても大事なことだと悟りました。



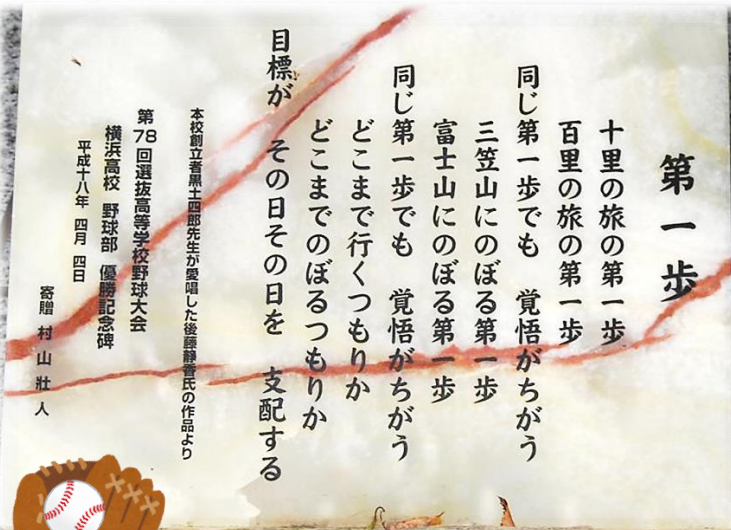
今年の卒業記念合唱「正解」の歌詞に、『答えのある問いばかりを教わってきたよ。そのせいだろうか、僕たちが知りたかったのは、いつも正解など、大人も知らない』という部分がありますが、私は「教わる」こともありましたが、「自分で見つけよう」とした学生時代でしたので、少し違う感覚です。答えの無い問いの正解は、自分自身が挑戦しなければ得ることはできません。教わるものでもありません。失敗を恐れ、動こうとしない人は、永遠に答えを得ることはできないでしょう。答えは、他の人と同じではないのです。あなただけの答えを出すために、あなた自身が動き出さないで結論が出るのでしょうか。決して他人のせいにはしない。自分の人生、自分が主役です。「自分の手を使って確かめてこそ、本当のことがわかるのです」

『制限時間は、あなたのこれからの人生。』

解答用紙は、あなたのこれからの人生。

採点基準は、あなたのこれからの人生。 よ〜い、はじめ!』

= 覚悟ある一歩を踏み出そう =



【横浜高校 野球グラウンドの石碑】

およそ世の中で成功している人の大半は、明確な目標を持ち、幾多の困難を、地道な努力で乗り切り、その果てに成功をつかんでいます。成功のためには他人にはわからない苦勞の一步一步が必ずあるのです。

中学生生活は、思春期にさしかかる時期でもあり、決して平坦な道のりではなく、いろいろな苦難が待ち受けています。しかし、それは、悪いことではなく、自分を磨くチャンスであり、乗り越えた先に自信に満ちた姿が見えてきます。

皆さんからは、高い目標を目指した、覚悟ある一歩を踏み出してほしいです。そして、その一歩に続く次の歩みを止めないでほしいです。

(2021年4月 立川中学校入学式 校長式辞より)

※一里：約4キロメートル ※三笠山：342メートル ※富士山：3776メートル

